## 様式第九（第十三条第一項関係）

型式認定申請書

年　　月　　日

内閣総理大臣　殿

（郵便番号）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては、名称）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連 絡 先

　下記のとおり、人工衛星の打上げ用ロケットの設計の型式認定を受けたいので、人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律第１３条第２項の規定により、申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 人工衛星の打上げ用ロケットの設計（別紙） |  |
| 飛行中断措置その他の人工衛星の打上げ用ロケットの飛行経路及び打上げ施設の周辺の安全を確保する方法 |  |
| 人工衛星の打上げ用ロケットと打上げ施設の適合性を確保する技術的条件 |  |

備考　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律施行規則第１３条第２項各号に掲げる書類を添付すること。

（別紙）

人工衛星の打上げ用ロケットの設計

１　概要

|  |
| --- |
| 主要諸元 |
| 型式（※１） |  |
| 機体の名称（※２） |  |  |  |
| 段構成 |  |  |  |
| 補助ブースタ等の有無及び本数 |  |  |  |
| 全長（m） |  |  |  |
| 直径（代表径）（m） |  |  |  |
| 全備質量（t）（人工衛星を除く） |  |  |  |
| 誘導方式 |  |  |  |
| 飛行中断措置の方法 |  |  |  |
| ※１　型式とは、機体形態の別を考慮しないロケットの型式を指す名称をいう。例：H-IIA※２　機体の名称とは、機体形態の別により異なる名称をいう。例：202型 |
|  |
| 衛星フェアリング |
| 名称 |  |  |  |
| 全長（m） |  |  |  |
| 外径（m） |  |  |  |
| 質量（t） |  |  |  |
| 主要搭載電子装置 |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 機体の名称 |  |
| 各段等の詳細（必要に応じ補助ロケット等※の諸元を追記すること） |
|  | 第　　段 |  |  |  |
| 全長（m） |  |  |  |  |
| 外径（m） |  |  |  |  |
| 質量（t） |  |  |  |  |
| エンジン等の基（本）数 |  |  |  |  |
| エンジン等１基（本）あたり推力（kN） |  |  |  |  |
| 燃焼時間（s） |  |  |  |  |
| 推進薬種類 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 推進薬質量（t） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 姿勢制御方式 |  |  |  |  |
| 主要搭載電子装置 |  |  |  |  |
|
| ※ガスジェット・サイドジェット等の姿勢制御用エンジン等を含む |
| 打上げ能力（必要に応じて代表的軌道を追記すること） |
| 代表的軌道名称 | 低軌道 |  |  |  |
| 高度（km） |  |  |  |  |
| 軌道傾斜角（度） |  |  |  |  |
| 打上げ可能質量（kg） |  |  |  |  |

２　ロケットシステム系統図

３　飛行安全管制に係る主要構成装置等

※装置等の名称、概要及び搭載段

４　エンジン系統図（第　段）

※１　補助ロケット、姿勢制御用エンジン等を含む。

※２　着火装置等の安全に係る機能を含む。

５　軌道上における不要な人工物体（以下「軌道上デブリ」という。）発生の抑制のための措置

※ロケット軌道投入段、人工衛星分離に係る装置等